

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーション I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	身近な話題について、平易な語彙でゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図を把握することができる。	1	考查	1学期	ア
	L2 □	社会的な話題について、ゆっくりはっきり話されれば、必要な情報を聞き取り、要点を捉えることができる。	3・9	単元末テスト、考查	1学期	イ
Reading	R1 □	日常的な話題について、イラストなどを参考にしながら、文章に書かれている内容について要点を捉えることができる。	2	単元末テスト	1学期	ア
	R2 □	社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	4・6	考查、単元末テスト	1学期 2学期	イ
	R3 □	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。	7・8	考查、単元末テスト	2学期 3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	日常的で身近な話題について、自分の考えや気持ちをお互いに伝え合うことができる。	3・5	ディベート、インタビュー	1学期 2学期	ア
	SI2 □	言語や文化に関するトピックについて、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答を行うことができる。	6	インタビュー	2学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	日常的で身近な話題について、事前に準備したり、適切な支援を活用したりしながら自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。	1	スピーチ	1学期	ア
	SP2 □	社会的な話題について、基礎的な語句や定型表現を活用しながら自分の経験に基づいて、話して伝えることができる。	2	プレゼンテーション	1学期	イ
	SP3 □	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのある話題や自分に関心のある事柄について語ることができる。	9	スピーチ	3学期	イ
Writing	W1 □	日常的な話題についての情報をまとめて、他者に紹介するための英文を書いて伝えることができる。	4	エッセイライティング	2学期	ア
	W2 □	環境などの社会的な話題について、情報を整理しながら簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。	7・8	考查、エッセイライティング	2学期 3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	武岡台	高等学校	学 年:	1年
科目名:	英語コミュニケーションⅠ		大学科:	普通

学期	月	Lesson	領域	CS	評価 方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	L	ア	定期考査	L1□	身近な話題について、平易な語彙でゆっくりはっきりと話されれば、話し手の意図を把握することができる。
			SP	ア	PT	SP1□	日常的で身近な話題について、事前に準備したり、適切な支援を活用したりしながら自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。
	5	2	R	ア	単元末テスト	R1□	日常的な話題について、イラストなどを参考にしながら、文章に書かれている内容について要点を捉えることができる。
			SP	イ	PT	SP2□	社会的な話題について、基礎的な語句や定型表現を活用しながら自分の経験に基づいて、話して伝えることができる。
	6	3	L	イ	単元末テスト	L2□	社会的な話題について、ゆっくりはっきり話されれば、必要な情報を聞き取り、要点を捉えることができる。
			SI	ア	PT	SI1□	日常的で身近な話題について、自分の考えや気持ちをお互いに伝え合うことができる。
7	4	R	イ	定期考査	R2□	社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	
2	9	4	W	ア	エッセイライティング	W1□	日常的な話題についての情報をまとめて、他者に紹介するための英文を書いて伝えることができる。
	10	5	SI	ア	PT	SI1□	日常的で身近な話題について、自分の考えや気持ちをお互いに伝え合うことができる。
	11	6	R	イ	単元末テスト	R2□	社会的な話題を扱った平易な文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。
			SI	イ	PT	SI2□	言語や文化に関するトピックについて、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答を行うことができる。
	12	7	R	イ	定期考査	R3□	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。
			W	イ	定期考査	W2□	環境などの社会的な話題について、情報を整理しながら簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。
3	1	8	R	イ	単元末テスト	R3□	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。
			W	イ	エッセイライティング	W2□	環境などの社会的な話題について、情報を整理しながら簡単に描写したり自分の考えを述べたりすることができる。
	2・3	9	L	イ	定期考査	L2□	社会的な話題について、ゆっくりはっきり話されれば、必要な情報を聞き取り、要点を捉えることができる。
			SP	イ	PT	SP3□	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのある話題や自分に関心のある事柄について語ることができる。

英語コミュニケーションⅠ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取りすること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーションⅡ	学年	2年	

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	科学に関する話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の概要を理解することができる。	4	考查	1学期	ア
	L2 □	地理や歴史などの社会的な話題に関するディスカッションを聞いて、概要や要点を理解することができる。	9	考查	3学期	イ
Reading	R1 □	睡眠について書かれた文章や広告を読み、要点を理解したり必要な情報を取り出したりすることができる。	3	単元末テスト	1学期	ア
	R2 □	難民問題などの社会的な話題についての新聞を読んで、情報を理解することができる。	6	考查	2学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	世界の国々や関連する話題について、意見や気持ちをやりとりすることができる。	1	インタビューテスト	1学期	ア
	SI2 □	科学技術などの社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、相手の発言内容に基づき述べるることができる。	10	ディベート	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	日本の文化や観光名所について、情報や考え、気持ちなどを述べることができる。	2	スピーチ、プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 □	新しいロボット開発の提案について、絵を用いて話すことができる。	8	プレゼンテーション	2学期	イ
Writing	W1 □	物語の内容や関連する話題について、自分の考えや気持ちなどを説得力のある表現や論理構成を用いて書くことができる。	5	エッセイライティング	2学期	ア
	W2 □	社会的な話題について、良い点・悪い点を実例を用いて書くことができる。	7	エッセイライティング	2学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	武岡台	高等学校	学 年:	2年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	普通

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	SI	ア	PT	SI1□	世界の国々や関連する話題について、意見や気持ちをやりとりすることができる。
	5	2	SP	ア	PT	SP1□	日本の文化や観光名所について、情報や考え、気持ちなどを述べるができる。
	6	3	R	ア	単元末テスト	R1□	睡眠について書かれた文章や広告を読み、要点を理解したり必要な情報を取り出したりすることができる。
	7	4	L	ア	定期考査	L1□	科学に関する話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の概要を理解することができる。
2	9	5	W	ア	エッセイライティング	W1□	物語の内容や関連する話題について、自分の考えや気持ちなどを説得力のある表現や論理構成を用いて書くことができる。
	10	6	R	イ	定期考査	R2□	難民問題などの社会的な話題についての新聞を読んで、情報を理解することができる。
	11	7	W	イ	エッセイライティング	W2□	社会的な話題について、良い点・悪い点を実例を用いて書くことができる。
	12	8	SP	イ	PT	SP2□	新しいロボット開発の提案について、絵を用いて話すことができる。
3	1	9	L	イ	定期考査	L2□	地理や歴史などの社会的な話題に関するディスカッションを聞いて、概要や要点を理解することができる。
	2 3	10	SI	イ	PT	SI2□	科学技術などの社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、相手の発言内容に基づき述べることができる。

英語コミュニケーションⅡ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	武岡台	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	錯視の話題について、ゆっくりははっきりと話されれば、その内容の概要を理解することができる。	1	単元末テスト	1学期	ア
	L2 □	嘘をつく理由と嘘の種類とフェルドマンが行った嘘に関する実験について聞いて、概要や要点を理解することができる。	8	考查	2学期	イ
Reading	R1 □	ヒットソングに関する研究者の見解を読み取り、研究者が行った実験方法・結果について理解して要点をまとめられる。	3	考查	1学期	ア
	R2 □	世界人口の変遷を年代と共に増加をもたらした契機について読み、世界人口の増加により生じる問題について要点を理解したり必要な情報を取り出したりすることができる。	2	単元末テスト	1学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	杉原千畝の職業と立場について理解し、ユダヤ人の難民に対してビザを発行した意義を知り、杉原千畝についての意見や感想をやりとりすることができる。	4	ペアワーク	2学期	ア
	SI2 □	マグロの養殖についての情報や考え、意見などをやりとりし、相手の発言内容に対して質問し、会話を続けることができる。	10	ロールプレイ、ペアワーク	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	江戸時代の水道の発展やリサイクルシステムを知り、現代と江戸時代とを比較した生活について、情報や考え、気持ちなどを述べるすることができる。	7	スピーチ、プレゼンテーション	2学期	ア
	SP2 □	伊藤若冲という人物及び作品の概要を理解し、プライス氏と伊藤若冲の出会いについて知った後、プライス氏の行動や考え、気持ちなどを、本文の内容に基づき述べるすることができる。	6	スピーチ	2学期	イ
Writing	W1 □	蝶の生存に関する疑問を理解し、文章の内容を要約し、説得力のある表現や論理構成を用いて書くことができる。	5	エッセイライティング	2学期	イ
	W2 □	動物園を巡る論争における筆者の立場を理解し、動物園が生物の多様性の保全にどのように働きかけているかを知った後、良い点・悪い点を実例を用いて書くことができる。	9	エッセイライティング	2学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	武岡台	高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		大学科:	普通

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	L	ア	単元末テスト	L1□	錯視の話題について、ゆっくりはっきりと話されれば、その説明の概要を理解することができる。
	5	2	R	イ	単元末テスト	R2□	世界人口の変遷を年代と共に増加をもたらした契機について読み、世界人口の増加により生じる問題について要点を理解したり必要な情報を取り出したりすることができる。
	6	3	R	ア	定期考査	R1□	ヒットソングに関する研究者の見解を読み取り、研究者が行った実験方法・結果について理解して要点をまとめられる。
	7						
2	9	4	SI	ア	PT	SI1□	杉原千畝の職業と立場について理解し、ユダヤ人の難民に対してビザを発行した意義を知り、杉原千畝についての意見や感想をやりとりすることができる。
	10	5	W	イ	エッセイライティング	W1□	蝶の生存に関する疑問を理解し、文章の内容を要約し、説得力のある表現や論理構成を用いて書くことができる。
		6	SP	イ	PT	SP2□	伊藤若冲という人物及び作品の概要を理解し、プライス氏と伊藤若冲の出会いについて知った後、プライス氏の行動や考え、気持ちなどを、本文の内容に基づき述べることができる。
	11	7	SP	ア	PT	SP1□	江戸時代の水道の発展やリサイクルシステムを知り、現代と江戸時代とを比較した生活について、情報や考え、気持ちなどを述べることができる。
		8	L	イ	定期考査	L2□	嘘をつく理由と嘘の種類とフェルドマンが行った嘘に関する実験について聞いて、概要や要点を理解することができる。
	12	9	W	イ	エッセイライティング	W2□	動物園を巡る論争における筆者の立場を理解し、動物園が生物の多様性の保全にどのように働きかけているかを読んだ後、良い点・悪い点を実例を用いて書くことができる。
3	1	10	SI	イ	PT	SI2□	マグロの養殖についての情報や考え、意見などをやりとりし、相手の発言内容に対して質問し、会話を続けることができる。

英語コミュニケーションⅢ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「話し取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話し発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。